

| 頁 | 内容 | 誤 | 正 | | |
|-----------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|
| 目次 | 各付属資料の頁番号 2-4と2-5のタイトル | 付属資料 | | | |
| | | 付属資料 1 鋼板巻立て工法 | | | |
| | | 1-1 鋼板巻立て工法の施工マニュアル..... | 91 | 1-1 鋼板巻立て工法の施工マニュアル..... | 92 |
| | | 1-2 充填モルタルの特性..... | 98 | 1-2 充填モルタルの特性..... | 99 |
| | | 1-3 鋼板巻立て工法におけるディテールの影響..... | 100 | 1-3 鋼板巻立て工法におけるディテールの影響..... | 101 |
| | | 1-4 壁式橋脚に対する鋼板巻立て工法の効果..... | 105 | 1-4 壁式橋脚に対する鋼板巻立て工法の効果..... | 106 |
| | | 付属資料 2 鋼製パネル組立て工法 | | | |
| | | 2-1 鋼製パネル組立て工法の施工マニュアル..... | 111 | 2-1 鋼製パネル組立て工法の施工マニュアル..... | 112 |
| | | 2-2 溶融亜鉛合めつき鋼板..... | 117 | 2-2 溶融亜鉛合めつき鋼板..... | 118 |
| | | 2-3 補強材の材質と耐久性..... | 121 | 2-3 補強材の材質と耐久性..... | 122 |
| | | 2-4 鋼製パネルで組立補強された RC 柱の正負交番載荷実験..... | 122 | 2-4 鋼製パネルで組立補強された RC 柱のせん断実験..... | 123 |
| | | 2-5 鋼製パネルで組立補強された RC 柱のせん断実験..... | 126 | 2-5 鋼製パネルで組立補強された RC 柱の正負交番載荷実験..... | 127 |
| | | 2-6 鋼製パネル接合部の強度と品質保証..... | 132 | 2-6 鋼製パネル接合部の強度と品質保証..... | 133 |
| | | 付属資料 3 波形分割鋼板巻立て工法 | | | |
| | | 3-1 波形分割鋼板巻立て工法の施工マニュアル..... | 135 | 3-1 波形分割鋼板巻立て工法の施工マニュアル..... | 136 |
| | | 3-2 波形分割鋼板巻立てによる耐震補強効果に関する実験結果..... | 144 | 3-2 波形分割鋼板巻立てによる耐震補強効果に関する実験結果..... | 145 |
| | | 3-3 波形分割鋼板巻立てによるせん断補強効果..... | 152 | 3-3 波形分割鋼板巻立てによるせん断補強効果..... | 153 |
| | | 付属資料 4 スパイラル筋巻立て工法 | | | |
| | | 4-1 スパイラル筋巻立て工法の施工マニュアル..... | 155 | 4-1 スパイラル筋巻立て工法の施工マニュアル..... | 156 |
| | | 4-2 吹付けモルタルの品質と物性値..... | 161 | 4-2 吹付けモルタルの品質と物性値..... | 162 |
| | | 4-3 メッシュ筋の材質..... | 164 | 4-3 メッシュ筋の材質..... | 165 |
| | | 付属資料 5 吹付けモルタル工法 | | | |
| | | 5-1 吹付けモルタル工法の施工マニュアル..... | 165 | 5-1 吹付けモルタル工法の施工マニュアル..... | 166 |
| | | 5-2 吹付けモルタルの品質および耐久性..... | 174 | 5-2 吹付けモルタルの品質および耐久性..... | 175 |
| | | 5-3 吹付けモルタルによる耐震補強効果に関する実験結果..... | 178 | 5-3 吹付けモルタルによる耐震補強効果に関する実験結果..... | 179 |
| | | 5-4 シール剤の品質..... | 189 | 5-4 シール剤の品質..... | 190 |
| | | 5-5 吹付けモルタルの施工手順および品質管理方法..... | 190 | 5-5 吹付けモルタルの施工手順および品質管理方法..... | 191 |
| | | 5-6 ビニロンメッシュの品質..... | 192 | 5-6 ビニロンメッシュの品質..... | 193 |
| | | 付属資料 6 組合せ鋼材巻立て工法 | | | |
| | | 6-1 組合せ鋼材巻立て工法の施工マニュアル..... | 193 | 6-1 組合せ鋼材巻立て工法の施工マニュアル..... | 194 |
| 6-2 組合せ鋼材と吹付けモルタルで補強した柱の載荷実験..... | 201 | 6-2 組合せ鋼材と吹付けモルタルで補強した柱の載荷実験..... | 202 | | |
| 6-3 吹付けモルタルの品質..... | 209 | 6-3 吹付けモルタルの品質..... | 211 | | |
| 6-4 固定アングル、連結ピンおよび結束金具..... | 210 | 6-4 固定アングル、連結ピンおよび結束金具..... | 212 | | |
| 6-5 辺長が長い RC 柱の交番載荷実験..... | 213 | 6-5 辺長が長い RC 柱の交番載荷実験..... | 215 | | |
| 6-6 組合せ鋼材巻立て工法の施工手順..... | 217 | 6-6 組合せ鋼材巻立て工法の施工手順..... | 219 | | |

| 頁 | 内容 | 誤 | 正 |
|--------|------------------------|--|---|
| 目次 | 各付属資料の頁番号 | 付属資料7 RCプレキャスト型枠工法 7-1 RCプレキャスト型枠工法の施工マニュアル.....219 7-2 耐震補強用プレキャストパネルについて.....226 7-3 パネルの製造方法.....235 7-4 パネルの品質管理.....238 7-5 グラウト用モルタルについて.....239 7-6 継手の強度.....241 7-7 継手の設計・製造標準.....244 7-8 継手の品質管理.....246 7-9 プレキャストパネルによる耐震補強効果.....247 7-10 各施工段階で必要となる主な資材と工具.....250 付属資料8 外部スパイラル筋巻立て工法 8-1 外部スパイラル筋巻立て工法の施工マニュアル.....251 8-2 外部スパイラル筋巻立て工法による耐震補強効果に関する実験結果.....260 8-3 外部スパイラル筋巻立て工法に用いるブロックについて.....270 8-4 外部スパイラル筋巻立て工法に用いる鋼より線継手について.....276 付属資料9 繊維補強モルタル巻立て工法..... 9-1 繊維補強モルタル巻立て工法の施工マニュアル.....277 9-2 高強度繊維補強モルタルの特性.....283 9-3 繊維補強モルタル巻立て工法で補強されたRC梁のせん断耐力に関する実験.....289 9-4 繊維補強モルタル巻立て工法で補強されたRC柱の正負交番載荷実験.....295 9-5 接続鋼材と接続ボルトについて.....301 | 付属資料7 RCプレキャスト型枠工法 7-1 RCプレキャスト型枠工法の施工マニュアル.....221 7-2 耐震補強用プレキャストパネルについて.....228 7-3 パネルの製造方法.....237 7-4 パネルの品質管理.....240 7-5 グラウト用モルタルについて.....241 7-6 継手の強度.....243 7-7 継手の設計・製造標準.....246 7-8 継手の品質管理.....248 7-9 プレキャストパネルによる耐震補強効果.....249 7-10 各施工段階で必要となる主な資材と工具.....252 付属資料8 外部スパイラル筋巻立て工法 8-1 外部スパイラル筋巻立て工法の施工マニュアル.....253 8-2 外部スパイラル筋巻立て工法による耐震補強効果に関する実験結果.....262 8-3 外部スパイラル筋巻立て工法に用いるブロックについて.....272 8-4 外部スパイラル筋巻立て工法に用いる鋼より線継手について.....278 付属資料9 繊維補強モルタル巻立て工法 9-1 繊維補強モルタル巻立て工法の施工マニュアル.....279 9-2 高強度繊維補強モルタルの特性.....286 9-3 繊維補強モルタル巻立て工法で補強されたRC梁のせん断耐力に関する実験.....291 9-4 繊維補強モルタル巻立て工法で補強されたRC柱の正負交番載荷実験.....297 9-5 接続鋼材と接続ボルトについて.....304 |
| 目次 | 各参考資料の頁番号 | 参考資料 参考資料1 既設鉄道コンクリート高架橋柱等の耐震診断指針（案）.....306 参考資料2 鉄道高架橋耐震補強の経緯.....322 参考資料3 材料強度が耐震診断の結果におよぼす影響.....362 参考資料4 既存壁式橋脚の構造諸元の調査と変形性能算定式.....387 | 参考資料 参考資料1 既設鉄道コンクリート高架橋柱等の耐震診断指針（案）.....310 参考資料2 鉄道高架橋耐震補強の経緯.....326 参考資料3 材料強度が耐震診断の結果におよぼす影響.....366 参考資料4 既存壁式橋脚の構造諸元の調査と変形性能算定式*.....391 |
| 90-91頁 | 付属資料目次 2-4と2-5のタイトル | 2-4 鋼製パネルで組立補強されたRC柱の正負交番載荷実験.....123 2-5 鋼製パネルで組立補強されたRC柱のせん断実験.....127 | 2-4 鋼製パネルで組立補強されたRC柱のせん断実験.....123 2-5 鋼製パネルで組立補強されたRC柱の正負交番載荷実験.....127 |

| 頁 | 内容 | 誤 | 正 |
|------|-----------------------|---|---|
| 133頁 | 付属資料番号 | <p>2.2 試験結果 試験結果を付属表 2-6.1 に示す。最大荷重のばらつきは小さいが、母材の降伏強度に達していない。付属資料 2-5 のせん断実験では、最大荷重時において全般に補強材のひずみは高く一部では降伏ひずみに</p> | <p>2.2 試験結果 試験結果を付属表 2-6.1 に示す。最大荷重のばらつきは小さいが、母材の降伏強度に達していない。付属資料 2-4 のせん断実験では、最大荷重時において全般に補強材のひずみは高く一部では降伏ひずみに</p> |
| 308頁 | 参考資料目次 参考資料 4 の頁番号 | 参考資料 | 参考資料 |
| | | <p>参考資料 1 既設鉄道コンクリート高架橋柱等の耐震診断指針（案） 310 参考資料 2 鉄道高架橋耐震補強の経緯 326 参考資料 3 材料強度が耐震診断の結果におよぼす影響 366 参考資料 4 既存壁式橋脚の構造諸元の調査と変形性能算定式* 394 (*第2版にて追記修正)</p> | <p>参考資料 1 既設鉄道コンクリート高架橋柱等の耐震診断指針（案） 310 参考資料 2 鉄道高架橋耐震補強の経緯 326 参考資料 3 材料強度が耐震診断の結果におよぼす影響 366 参考資料 4 既存壁式橋脚の構造諸元の調査と変形性能算定式* 391 (*第2版にて追記修正)</p> |
| 364頁 | フロー図 | <p>【検討フロー】</p> <p>(例) ・想定される地震に対して落橋を防ぐことを基本として、各部材の損傷レベルの限界値等を設定する（例：図 1） ・既設橋りょうの各部材が損傷レベルの限界値以下であることを確認する ・各部材が損傷レベルを満足できない場合、補強を検討する 桁支承部：桁支承本体の補強、移動制限装置、落橋防止装置 ピボット支承：逸脱防止装置（図 2） 桁・橋脚：ブレース補強（図 2）、桁連結工 ※ 構造全体系で考える必要があり、ブレース補強等により支承の損傷が軽減する場合もある ・再度、補強後の構造系に対し耐震評価を行い、補強効果や、補強により新</p> | <p>【検討フロー】</p> <p>(例) ・想定される地震に対して落橋を防ぐことを基本として、各部材の損傷レベルの限界値等を設定する（例：図 1） ・既設橋りょうの各部材が損傷レベルの限界値以下であることを確認する ※ 構造全体系モデルでの時刻応答解析であれば、より精緻な評価が可能となる ・各部材が損傷レベルを満足できない場合、補強を検討する 桁支承部：桁支承本体の補強、移動制限装置、落橋防止装置 ピボット支承：逸脱防止装置（図 2） 桁・橋脚：ブレース補強（図 2）、桁連結工 ※ 構造全体系で考える必要があり、ブレース補強等により支承の損傷が軽減する場合もある ・再度、補強後の構造系に対し耐震評価を行い、補強効果や、補強により新たな弱点箇所が生じていないか等を確認する</p> |